

チャレ*くま通信

「チャレ*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です



編集部まえがき

今年もクリスマスツリーを飾りました（中央写真）。飾り付ける人が年どしで変わるので、毎回オリジナルです。でも、昨年のツリー（右写真）にひそんでいた面々はどこ？周りがワイワイとにぎわっていても、ツリーを見ていると不思議と静かな気持ちになりますね。

展示コースの第2コーナーを曲がった直後、「おっ！」「これはどこかで見かけたことがあるような」というかすかな記憶が0.5秒ほど流れた後、「ここにいたのか」と、迷子になったわが子にでも再会したような気持ちに。実は当センターからも例年、同展に出展しており、センターが誇（ほこ）る芸術愛好家の作品が「まだか、まだか」と、来るのを待ち構えていました。



今回出品したのは4種類の壁画、ハーバリウム、レジンの髪飾り、絵画です。来場者の方がどのように感じられたのか気になるころではありませんが、誰かに見

制作セミナー

「クリスマスリース」作りも奥が深い！

今回は「クリスマスリース」を制作しました。ハート型のリーススペースに自由に飾（かざ）りつけただけ！好きな写真を飾ったり、松ぼっくりを飾ったりと、思い思いの作品ができあがりました。何をどう飾りつけたらよいものか、思わず悩んでしまうものですが、「何を作るか悩んでいるときがいいですよ」と、試行錯誤（しこうさくご）しながら作ることを楽しむメンバーさん。なるほど、制作セミナーは奥が深い！



今月は3名の方の就職が決定しました。おめでとございます。チャンスがあればどんな職種でも挑戦した方、内定が出るまで不安ながらも毎日訓練し続けた方、自ら選んだ道を最後まで走り続けた方、みんな、力を尽くしました。企業の広報、市役所の事務補助の仕事に就職です。このうちお二人はわが広報誌編集部のお出陣。うれしいですね。

就職・検定情報



芸術探訪

「おっ！」「この作品はまさか」

熊谷市の障害者作品展を訪問 作品にやどる思いも探訪しました

熊谷市では障害者週間（12月3日から12月9日）に合わせて毎年、作品展を開催しています。当センターからは十数名を超える芸術好き（？）が同展を訪問。絵画や工芸、書道などの作品を鑑賞。なかには制作者の感情に思いをはせる、なんとも通な見方をされていた方もいました。

今月の Photo You

12月17日は、『飛行機の日』わずか約120年前の出来事！



成田とメキシコシティを結ぶアエロメヒコ航空

アメリカで自転車製造業を営むウィルバー（兄）とオーヴィル（弟）は1903年12月17日、人類初となる動力飛行機の飛行に成功しました。この二人は「ライト兄弟」として知られています。最初の飛行テストでオーヴィルが約12秒間の飛行に成功。続けて行われた4回目でウィルバーが飛行時間59秒、飛行距離約260mを記録しました。いまから約120年前に過ぎないというのは驚きです。その後の進歩もすごいですね。ちなみに、日本と外国を結ぶ直行便（旅客機）で現在最も遠い距離を飛んでいるのは、成田とメキシコシティを結ぶ1万1247kmです。

「Summer（夏）は比較級だったんだ」…ホント？

「正式な英語表記を策定する英オックスブリッジ大学英語正書法委員会（OEC）は24日、夏を意味する英単語「summer」を、最上級「summers」に格上げするよう勧告した（2024年11月23日、朝日新聞「天声人語」）。「へー、そうなんだ」と思ってしまったよ。実はこれ「虚構（きまご）ニュース」というパロディ（笑）の記事。しかし、昨今のフェイクニュースと一線を画し「ニヤリとさせられてしまう」という朝日新聞の評にもうなずけま。虚構新聞は私の「おしめん（推紙面）」ですが、なかでも好きなのが、訂正記事。うそが現実になると出される記事です。「辛くて苦手」に新商品「種なし柿の種」登場。種なし柿の種「登場」という記事は、お詫びという記事は、お詫びは、事実を知っても笑えるものであります。

虚構新聞

内閣府が定める 上下左右左右上
社会 政治 経済
虚構新聞・編集部からのお知らせ

「辛くて苦手」に新商品 「種なし柿の種」登場
2016年6月8日付本紙記事「辛くて苦手」

相談・見学
については
こちら



お悩み相談 いつでも受付中です！
ご自身のこと、ご家族のこと、就労のこと…
ぜひお気軽にご相談ください♪

チャレジョブセンター熊谷

埼玉県熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル3F

Mail: kumagaya@challe-job.co.jp

TEL: 048 - 578 - 8401

チャレジョブセンターHP
<https://challe-job.co.jp>

詳細は
こちら♪

